

平成26年度

第1回公民館運営審議会議事録

平成26年5月 9日開催

平成26年5月20日承認

浦安市高洲公民館

○ 出席委員

委員 長	埴 勉
副委員 長	渡邊 聰子
委員	松田 奈美世
委員	長島 康晴
委員	佐藤 一枝
委員	中井 寿子
委員	輕部 節子
委員	工藤 真由美
委員	浜田 芳之
委員	越村 康英
委員	藤瀬 礼子

○ 説明出席者等

生涯学習部部長	石田 和明
生涯学習部次長	加藤 茂
高洲公民館長	吉田 敏輝
中央公民館長	中島 貴義
堀江公民館長	石井 一義
富岡公民館長	指田 裕司
美浜公民館長	宇田川 妙子
日の出公民館長	高梨 晶子
事務局	鈴木 徳雄
	小泉 清乃

平成26年度 第1回 公民館運営審議会会議録（議事要旨）

- 1 開催日時 平成26年5月9日（金）午後3時～5時
- 2 開催場所 堀江公民館2階 第1・2会議室
- 3 出席者
（委員）
埴委員長、渡邊副委員長、松田委員、長島委員、佐藤委員、中井委員、軽部委員、
工藤委員、浜田委員、越村委員、藤瀬委員
（事務局）
生涯学習部部長、生涯学習部次長、高洲公民館長、中央公民館長、堀江公民館長、
富岡公民館長、美浜公民館長、日の出公民館長、高洲公民館主査、
高洲公民館副主査
- 4 傍聴者 無
- 5 議 題
 - I 開会
 1. 委員長挨拶
 2. 教育委員会挨拶
 - II 協議
 1. 報告事項
 - (1) 平成25年度公民館主催事業開催結果報告
 - (2) 平成25年度公民館利用状況報告
 2. 審議事項
 - (1) 平成26年度公民館運営審議会年間活動計画について
 - (2) 平成26年度7月～9月公民館主催事業開催計画について
 3. その他
 - (1) 当代島公民館文化祭について
 - (2) 公民館運営審議会への諮問について
 - (3) 次回会議の予定

6 議事概要及び会議経過

I 開会

1. 委員長挨拶
2. 教育委員会挨拶

II 協議

1. 報告事項

(1) 平成 25 年度公民館主催事業開催結果報告

総括として高洲公民館長より説明を行った。各館の状況について、各公民館長より報告を行った。

(委員) 美浜公民館の主催事業で公民館利用者の講師活用とありますが、公民館利用者から講師になっていただいたのでしょうか。

(事務局) 美浜公民館で活動しているサークルの方で、例えば、美浜中学校の特別支援学級等に物づくりを教えに行っている方と、公民館利用者で学校支援コーディネーターの方とも顔つなぎができていた関係から、公民館の主催事業で講師をお願いしました。また、「みはまいきいきサロン」の会員の中からこの事業の講師として盛り上げていただきました。

(委員) 中央公民館の協働事業を手探りしながら行っていると話をいただきました。確かに手間がかかるとは思いますが、ここに集った方は事業を企画していく大変さを市民の方が実際に感じられていくということは、一つ一つ公民館で行っている事業に対しても同様に大変さを察することができるし、公民館活動のPRとして大きな効果があるのではないかと考えています。

(委員) どの公民館も地域の特性にこだわりながら、地域に根差して公民館事業を展開しておられるということを改めて感じられました。公民館は地域があってこそその公民館ですので、ここが一番の核になるのではないかと感じました。資料の5頁実施統計の表の中で、「幼児・青少年」を対象とした事業が174件と一番多くて、学校との連携も盛んになってきているので充実していると感じました。しかし、一方で「青少年」の言葉を青年と少年に分けて考えてみた時、行っている事業はおそらく少年をターゲットにしたものだと思います。10代後半から20代にかけての青年期の学習がどうしても充実できない、難しい課題だと思います。若者を対象とした事業を実施しても来てくれない問題もあります。一方で、今の若者は生きづらい、働きづらい社会の中でいろいろな課題を抱えて生活していることは間違いないので、そういった生活課題や若者が抱えている課題にチャレンジしていくのもよいのかと思います。質問ですが表の中の「学習方法別B（事業）」の複合講座方式と単一講座公式の違いを教えてください。

(事務局) 複合講座方式は、いろいろなテーマを一つの講座に入れ込んだ講座、例えば、コミュニティーカレッジです。単一講座方式は、一つのテーマを複数

回行っていくものです。

(委員) 日の出公民館の「日の出孫育て・子育て講座」で参加者は少なかったが、地域の孫育てに貢献できる人材育成事業は、とてもよいことだと思います。今後はどのような形で続けていくのでしょうか。

(事務局) 昨年度は育G(爺)講座で、おじいちゃんを対象に育児の知識の学び直しや、新たに基本的な部分での遊びなどを学んでいただきました。今年度については、夏から「寺子屋ひので」を開催しますが、ここで活躍していただくために7月に育G講座を2回程行います。この講座を生かして夏休みに「寺子屋ひので」で生活のマナー等、ゲーム感覚で楽しく学べる場の担い手となっていただこうと思っております。25年度は新しくお母さんになる母親学級の的な内容でしたが、26年度については、「子ども達とどう向き合っていくか」そのためのスキル講座です。

(2) 平成25年度公民館利用状況報告

総括として高洲公民館長より説明を行った。

(委員) 表の中で行政事業が平成24年度と比較すると3倍になっていますが、増えた理由は为什么呢。

(事務局) 当代島公民館が、昨年度と比較すると増えている状況ですが、本日、欠席のため、詳細については、次回報告します。

2. 審議事項

(1) 平成26年度公民館運営審議会年間活動計画について

平成26年度公民館運営審議会年間活動計画について、高洲公民館長が説明を行い、承認された。

(2) 平成26年度7月～9月公民館主催事業開催計画について

7月から9月の公民館主催事業開催計画について、各公民館長が説明を行い、承認された。

(委員) 参考資料2頁、5. 現代的課題への取り組みで見ると平和映画会、平和パネル展といった、過去の出来事、写真に現れたものを展示、見せていますが、我々が感じるのは、大人は過去のことは知っているが子ども達は知らない、大人は今のことを知りたいというのが私の考えです。国際理解という意味でこのような現代的課題の取り組みを行っていると思いますが、今、起こっていることへの理解を深めたい。前回もお話ししましたが、例えば尖閣問題について、何が本当なのか、どういう見方を各国がしているのか、現代的課題を理解させてもらえる講座が欲しいと私はいつも思っています。大変難しい問題だとは思いますが。呼んでくる講師が一方的にこっちを向いていたり、あっちを向いていたりするのは困りますが、いろんな意見があることを知るとい

う形の講座があると、この年代は興味があるのではないか。そういう部分がこの事業の中に少し足りないのではないかと思います。そういう形で実施していただければ、一つの方向性があると思います。

(委員長) 委員ご自身からもお話をいただきましたが、評価の決まっていないことがら、いろいろな立場があることがらを扱うのは、かなり難しいのではないかと思います。特に教育委員会が扱う場合は、実行に移すのはかなり難しいと思います。十分に検討をされたほうがよいと思います。

(事務局) 平和事業では、必ずしも第二次大戦の話ばかり取り上げているわけではありません。今年の中・美浜・高洲の巡回展示については、国連の関係機関である高等難民弁務官事務所から、2,000年代に起こった国際的な難民に関わる紛争問題のパネルをお借りします。原爆であるとか戦争体験などに目がいてしまいますが、必ずしもそうではありません。本当は尖閣問題やウクライナのことなども扱いたいのですが、非常に難しい問題があります。そこで扱っても、この先どうなっていくかもわからないですし、どちらが正しいかの話になってしまい、お互いの主張をぶつけ合うだけならば本当の平和追及になるのか、ならないのか、いろいろなことがあると思います。本当は実施していきたいですが、手が出せないところがありますので、ご理解ください。

(委員) よくわかります。そういうことを前提にお話ししますよと仕切りの中で事業ができないだろうか。確かに際どい問題なので手を出せない、危険性があるものだと思いますが、何かできないかなと思う私の主張です。

(事務局) 平和に関する学習や国際理解に関する学習の公民館でのねらいですが、21世紀は人権の世紀と言われます。それは人権の無いところには平和も無い、平和の無いところは人権も無い。これまで20世紀後半、宗教の違いであるとか、人種の違いなどで戦争につながっていった歴史があります。そういう意味で違いを理解しあうことが平和につながっていくんだという意味での国際理解であり、平和に関する学習としての公民館の取り組みでありますので、ご理解をいただきたいと思います。直接的に個別の問題に対してでは公民館としての事業ではないと思います。

(委員) 事務局の意見は理解できます。例えば外国人労働者を人材不足のため積極的に取り入れていこうとニュースの話題になっていますが、どうしても日本人の中に「大丈夫なの」、「治安はどうなるの」など、さかんに違いを認めることが、多様な国際社会の中で日本はどうやっていくのかという流れに対し、現実的に外国人労働者が増えて大丈夫なのかという考えを強く持たれる方が増えていく状況の中で、違いを受け入れる基本的なことを学習に取り入れることも国際的な学習になりますし、人権問題の学習として公民館で取り入れていけるのではないかと思います。

3. その他

(1) 当代島公民館文化祭について

当代島公民館文化祭について、高洲館長が説明を行った。

(2) 公民館運営審議会への諮問について

公民館運営審議会への諮問について、高洲公民館長が説明、依頼を行った。

(委員長) 諮問に対しての回答をするために次回までに、現在ある2,000サークルについて、どんなサークルがどの公民館にいくつあるのか、現状の資料をいただきたい。次回は、皆さんに日程などを具体的に提案していきたいと思います。

(3) 次回定例会議の予定

事務局より次回の第2回公民館運営審議会は、7月11日(金)午後3時から、当代島公民館で開催することを確認した。

以上で平成26年度 第1回浦安市公民館運営審議会は閉会した。